



2025年4月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ク セ ラ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 岡 毅  
(コード番号：6731 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 岩 井 亨  
(TEL. 050-1780-3296)

### 第10回無担保社債及び第11回無担保社債の資金用途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年10月8日に発行した株式会社ピクセラ第10回無担保普通社債および2024年11月25日に発行した株式会社ピクセラ第11回無担保普通社債（以下、両社債を合わせて「本社債」と総称します。）の資金用途及び充当期期について、変更することを決議（以下、「本資金用途変更」といいます。）いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 本資金用途変更の理由

本社債に係る資金用途につきましては、2024年9月26日付「第三者割当による第20回新株予約権の発行及び新株予約権の買取契約の締結、無担保社債（私募債）の発行、並びに定款の一部変更に関するお知らせ」に記載のとおり、新規事業を含む各プロジェクトの推進を予定しておりました。しかしながら、新規のオーガニックプロダクト、フィットネス事業については、事業開始時期が当初計画より遅れる見通しとなっております。一方で、既存製品（家電・AV事業）の販売が想定を上回る水準で推移しており、生産体制の強化および販売促進施策の早期実施が必要と判断いたしました。

このような状況を踏まえ、資金の有効活用を図るため、当該調達資金の用途を見直し、既存製品の生産資金およびマーケティング・プロモーション費用に資金を充当することといたしました。

##### 2. 本社債の資金用途充当額の変更の内容

本資金用途の変更内容は以下のとおりとなります。（変更箇所は下線で示しております。）

【当初の資金使途】

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
オーガニックプロダクト	80	2024年10月～2025年4月
フィットネス事業	200	
① ビジネスモデルの検討	10	2024年10月～2025年1月
② フィットネスアプリ開発費用	70	2025年1月～4月
③ ウェアラブルデバイスとの連携強化	20	2025年3月～4月
④ フィットネスデバイスの金型費用	100	2024年10月～2025年4月
新製品の生産資金	144	2024年10月～2025年4月
既存製品の生産資金	326	2024年10月～2025年4月
合計	750	

【変更後の資金使途】

具体的な使途	金額 (百万円)	支出時期
オーガニックプロダクト	0	二
フィットネス事業	11	
① ビジネスモデルの検討	10	2024年10月～2025年1月
② フィットネスアプリ開発費用	1	2025年1月～4月
③ ウェアラブルデバイスとの連携強化	0	二
④ フィットネスデバイスの金型費用	0	二
新製品の生産資金	132	2024年10月～2025年5月
既存製品の生産資金	571	2024年10月～2025年5月
マーケティング・プロモーション費用	36	2025年4月～2025年5月
合計	750	

(1) オーガニックプロダクト

オーガニック事業につきましては、当初2024年10月から2025年4月にかけて80百万円を充当する計画でしたが、新製品の開発に遅れが生じており、現時点では当該資金をまだ投入できておりません。これは、当社が自然由来の天然成分を原料とする製品であるため、薬事法の法律に準拠し、当社製品のさらなる品質および安全性を最優先として追加試験や認証工程を実施しているため、開発プロセスが当初想定より長期化しております。この結果、製品投入時期は当初計画より遅れる見込みですが、開発体制の強化とプロセス効率化に着手し、遅延の早期解消に努めております。

なお、オーガニックプロダクトにかかる資金は当初、社債調達資金から充当する予定でしたが、同時期に発行いたしました第 20 回新株予約権による調達資金を、新製品開発費用および新規事業構築費用としてウェルネス分野へ優先的に振り向ける方針に変更いたしました。これにより資本効率を高めつつ、高付加価値・ストック型ビジネスへの投資を加速し、中長期的な株主価値の最大化を図ってまいります。

## (2) フィットネス事業

フィットネス事業につきましては、当初計画どおり①ビジネスモデルの検討 10 百万円、②フィットネスアプリ開発費 1 百万円の計 11 百万円を投入し、③・④の費用は未充当となっております。

本事業はテクノロジーとトレーニングを融合させた新規性の高い領域であるため、ビジネスモデル構築にあたり外部有識者の意見収集や市場調査を並行して実施してまいりました。その過程で最適なパートナー企業の選定に時間を要し、進捗が当初計画より遅延しておりますが、現在はパートナー選定がほぼ確定し、契約条件の最終調整段階に入っております。選定完了後は速やかに開発体制を構築し、事業計画を具体化してまいります。

なお、フィットネス事業に充当予定であった資金は当初社債調達分を想定しておりましたが、同時期に発行した第 20 回新株予約権による調達資金を、新製品開発費用・新規事業構築費用としてウェルネス分野に優先投入する方針に変更いたしました。これに伴い社債調達分は、販売が好調に推移している既存家電・AV 製品の生産資金へ振替し、在庫不足リスクの低減と収益機会の最大化を図っております。

本対応は、各事業の進捗と資金需要を踏まえ、グループ全体で資金を最も効果的かつ機動的に活用するためのものであり、全体資金計画に大きな変更はございません。

## (3) 新製品の生産資金

当初、2024 年 10 月から 2025 年 4 月にかけて新製品の生産資金に 144 百万円を充当する計画でしたが、資材調達とライン効率を精査した結果、132 百万円で同等以上の生産体制を確保できる見通しとなり、充当額を最適化いたしました。本資金は、下記 3 製品の開発および量産体制の構築に使用いたします。

- 「Re・De Range」(2025 年 2 月 21 日一般販売開始)  
クラウドファンディングと SNS での先行プロモーションにより認知を早期に獲得。家電量販店の販売チャンネルが拡大し、現在の販売は好調に推移しているため、増産体制を強化します。
- 「爆速リベイクトースター」(2025 年 3 月 21 日一般販売開始)  
従来トースターでは難しい“焼きたて食感”を再現する新機能を搭載。クラウドファンディングによる先行販売で好評を得ており、一般流通での需要拡大を見据えた生産ラインを増強します。
- 「Re・De Light & Sound」(2025 年 4 月下旬一般販売予定)

照明とスピーカーを融合した新概念製品。クラウドファンディングでの先行販売を経て、SNS および各種メディアでのプロモーションを強化し、市場投入に向けた生産準備を進めます。

#### (4) 既存製品の生産資金

当初 2024 年 10 月～2025 年 4 月にかけて既存製品の生産資金として 326 百万円を充当する計画でしたが、2025 年 5 月までにグループ全体で 571 百万円を充当することといたしました。これは LTE 対応 USB ドングル「PIX-MT110」や USB 接続テレビチューナー「XIT-SQR100」などの AV 関連製品が想定を上回る好調な販売を続けており、安定供給体制を維持・強化する必要が生じたためです。

また家電事業でも、理美容製品「Re・De Hairdry」の実店舗導入が拡大し、冷蔵庫・冷凍庫など白物家電の需要も堅調に推移しております。このため、売上拡大と在庫安定を図る観点から、当初計画には含めていなかった家電事業の既存製品にも一部資金を振り分ける判断をいたしました。

新製品および新規事業については、同時期に調達した第 20 回新株予約権の資金を主な原資として充当する予定であり、既存製品への追加投資は販売状況と需給バランスを踏まえた機動的な資金運用の一環です。詳細は同日に公表した「第 20 回新株予約権の資金使途の変更および進捗に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は引き続き新規事業の展開に注力しつつ、既存製品においても今後の安定成長を支える重要な柱と位置づけ、柔軟な資金配分で事業全体の価値向上を目指してまいります。

#### (5) マーケティング・プロモーション費用

当初の資金計画には含めておりませんでした。激化する市場で確実に成果を上げるには、強力なマーケティング戦略が不可欠と判断し、36 百万円をマーケティング・プロモーション費用に追加充当することといたしました。

- AV 関連事業

ファッション性と機能性を兼ね備えた次世代スマートリング「Re・De Ring」の海外展開を本格化。2025 年 2 月 13 日から開始した韓国でのクラウドファンディングが順調に推移しており、同プラットフォームの販売手数料などに本資金を活用いたします。さらに、台湾・中国での商標登録、各種認証取得、現地プロモーションへも投入し、アジア市場での認知拡大を加速させます。

- 家電事業

新製品「Re・De Range」と「爆速リベイクトースター」のプロモーションおよび展示会出展費用として充当します。2025 年 4 月～5 月にかけて集中的に投下し、新商品の上市直後から売上拡大を狙う戦略的投資といたします。

これらの施策により、短期の販売伸長と中長期のブランド価値向上を同時に図り、企業成長

を一層加速してまいります。

### 3. 今後の見通し

現時点において2025年9月期の業績は開示しておりません。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

以 上